

PRESS RELEASE

2024 年 11 月 27 日

株式会社 ispace

**ispace、ミッション 2 RESILIENCE ランダー、打ち上げ準備のため輸送完了
月への再挑戦！米国フロリダ州にて打ち上げの時を待つ***Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”は最速 2025 年 1 月に打ち上げ予定*

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は本日、Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”（以下ミッション 2）で打ち上げを予定している RESILIENCE ランダー（月着陸船）が無事、打ち上げ場のある米国フロリダ州に輸送が完了し、打ち上げに向けた最終準備を開始することを発表しましたので、お知らせいたします。本ランダーには、TENACIOUS（テネシアス）ローバー（月面探査車）他、商業ペイロードが搭載されており、最速 2025 年 1 月に打ち上げを予定しています。



ミッション 2 RESILIENCE ランダーが、慎重に輸送用の専用コンテナに格納される様子

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の筑波宇宙センターで各種地上試験を順調にクリアし、ついに完成した RESILIENCE ランダーは専用のコンテナに格納され、民間の航空貨物輸送機にて米国フロリダ州へ輸送されました。



RESILIENCE ランダーが格納されたコンテナが筑波で車両に積載される様子



RESILIENCE ランダーを格納したコンテナが米国フロリダ州に到着し、荷下ろしされる様子

ispace は、日・米・欧の 3 法人でそれぞれの地域の文化や多様性を活かしながら、1 つの統合的なグローバル企業として宇宙開発を進めてまいりました。最速 2025 年 1 月に日本法人が主導するミッション 2、続いて 2026 年には米国法人が主導するミッション 3 を順次実行していく計画です。また、2027 年には、現在日本で開発中のシリーズ 3 ランダー（仮称）を用いたミッション 6 を予定しています。世界中の政府、企業、教育機関からの高まる需要に応えるため、ispace はミッション 3 およびそれ以降のミッションのペイロードサービス契約とデータサービスを提供してまいります。

■ 株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田武史のコメント

「ミッション 2 に挑む RESILIENCE ランダーは、ミッション 1 で得たデータやノウハウが反映された「HAKUTO-R」プログラムの集大成となります。このたび、射場がある米国フロリダ州への輸送が無事完了し、まずは安堵しています。ランダーにはお客様からお預かりしているペイロードが搭載されているのはもちろんのこと、多くのステークホルダーの皆様の期待もお預かりしています。様々な想いを乗せたランダーが、無事打ち上げの日を迎えるまで、引き続き最終調整を進めてまいります。」

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続くミッション 2 の打ち上げは最速 2025 年 1 月ⁱに、ミッション 3 は 2026 年ⁱⁱ、ミッション 6 は 2027 年ⁱⁱⁱに打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 へフィードバックされる予定。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

■ HAKUTO-R (<https://ispace-inc.com/jpn/m1>)について

HAKUTO-R は、ispace が行うミッション 1 およびミッション 2 を総称する、民間月面探査プログラム。独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発して、月面着陸と月

面探査の2回のミッションを行う。SpaceX の Falcon 9 を使用し、2022 年にミッション1（月面着陸ミッション）のランダーの打ち上げを完了。最速 2025 年 1 月^{iv}にミッション2（月面探査ミッション）の打ち上げを行う予定。

オフィシャルパートナーである株式会社三井住友銀行により命名された Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”には、新たな始まりやチャンスの意が込められている。

HAKUTO-R はオフィシャルパートナーとして株式会社三井住友銀行、コーポレートパートナーとして、日本航空株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、日本特殊陶業株式会社、シチズン時計株式会社、スズキ株式会社、高砂熱学工業株式会社、SMBC 日興証券株式会社、S k y 株式会社、Epiroc AB、株式会社ジンズ、栗田工業株式会社が参加している。

ⁱ 2024 年 11 月時点の想定

ⁱⁱ 2024 年 11 月時点の想定

ⁱⁱⁱ 2024 年 11 月時点の想定

^{iv} 2024 年 11 月時点の想定